

提出日： 2023 年 3 月 31 日

## 研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	教授	加納 樹里

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日 2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日 3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日 4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	<b>1)アスリートの教育支援に関する調査研究</b> 特に女子アスリートのセカンドキャリアや、デュアルキャリアに関する支援を検討する目的で、以下の調査を行った。 ・本学女子陸上競技部 OG への聞き取り調査 ・大学運動部経験者に対する社会調査(web 調査により 400 名弱から回答を回収) <b>2)生理的パラメータを用いた健康管理・アスリートのコンディショニング研究(総括)</b> 今までの自律神経評価に関する測定データの内、成文化していないものを総括し、保健体育研究所紀要第 41 号に「大学生アスリートのコンディション評価指標としての心拍変動解析」として投稿し、査読を終了。刊行待ちの状況である(2023 年夏休み前に刊行予定)
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	1)本学における女子運動部員へのサポートを考えていく上で、参考になる意見や問題点をいくつか抽出することができた。今後は、研究としては汎用性を広めていくことと、Chuo スポーツセンターの施策として現場還元していく作業を並行して行う。 2)心拍変動による自律神経評価をスポーツ選手のコンディショニング指標として利用する場合の問題や課題について明らかにすることができた。また大学生年代のアスリートの様々な種目における測定値を具体的に提示し、比較検討することができた。 一般学生への適応も検討した。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	1) Web 調査の分析はまだ不十分な状況であるが、回答者に偏りがあるため、今後社会調査の専門家の助言を頂きながら、さらに規模を広げた調査を検討する。 2) 今後はウェアラブルな測定機器のアスリートへの適用について、個人研究の形で継続する。